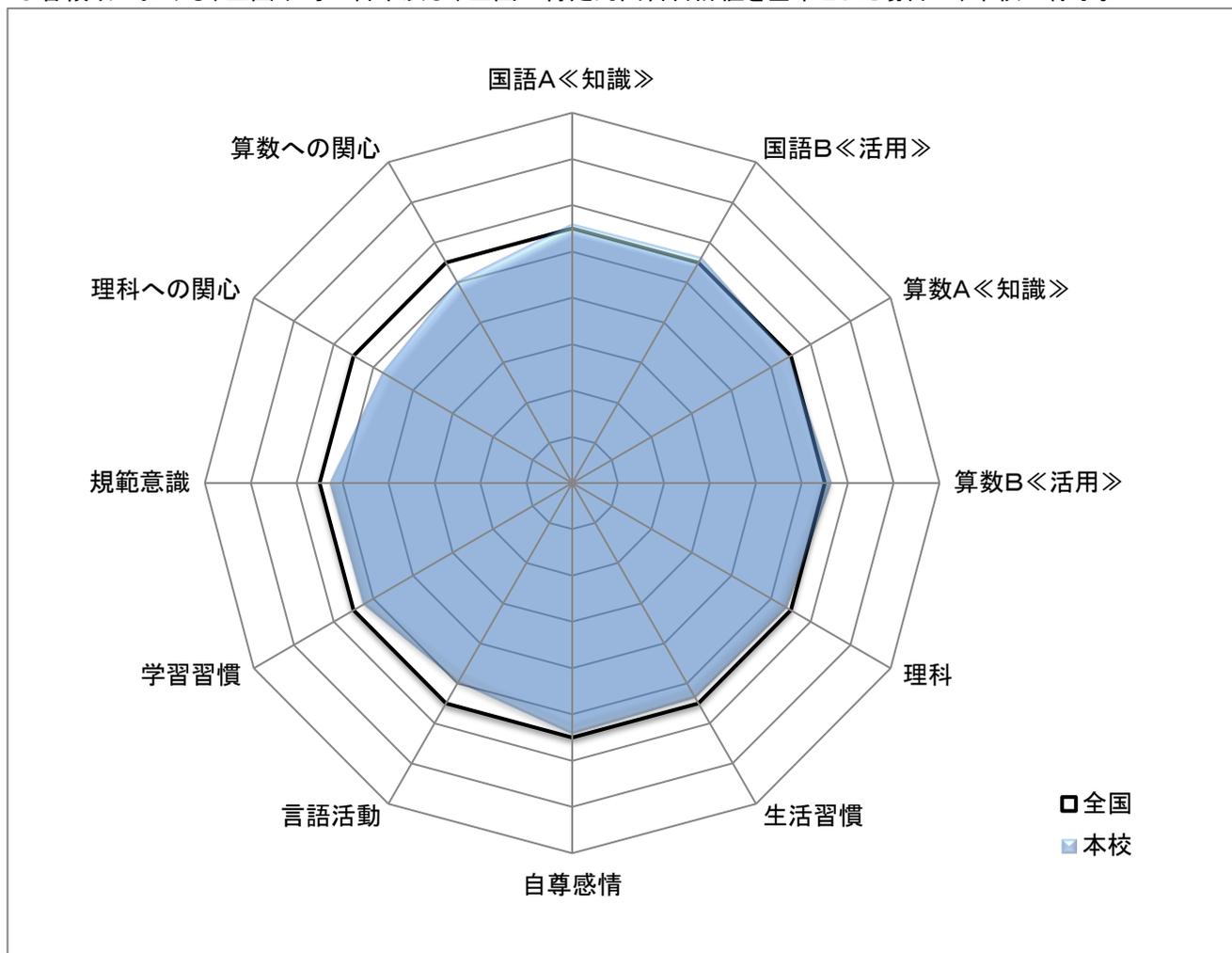


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・国語Aは1.3%、国語Bは1.3%、全国平均を上回ることができた。
- ・算数Aは0.5%全国平均を下回ったが、算数Bは1.5%上回ることができた。
- ・理科は1.3%全国平均を下回っている。
- ・算数、理科への関心は全国平均を下回っている。
- ・言語活動、規範意識、学習習慣、生活習慣は全国平均を下回っている。

《授業改善のポイント》

- ・国語については、お互いの考えを伝え合う活動を日常的に取り入れ、さらにお互いの考えの共通点や相違点、要旨を整理しながら聞いたりまとめたりできるような工夫をしていく。
- ・算数については、「東京ベーシックドリル」を活用しながら、基礎・基本の徹底を図る。また、算数的活動を積極的に取り入れ、日常生活と結び付けて学習することができるようにするとともに、算数の楽しさを児童に味わわせることができるようにしていく。
- ・理科については、仮説を立てたり、実験の結果を考察したりする際に、日常生活や既習事項と結び付けて考えることができるようにしていく。

《チャートの特徴》

- ・全国平均を1とした正多角形とほぼ同じ正多角形を描いている。
- ・学力に関してはほぼ全国平均と同じ結果となった。
- ・算数、理科への関心、規範意識、学習習慣、言語活動は全国平均を下回った。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・東京ベーシックドリルを活用した家庭学習の工夫をする。さらに、予習、復習にも目が向けられるように働きかけていく。
- ・生活リズムの安定向上と規範意識の醸成について、家庭、地域に働きかけ連携して取り組んでいくようにする。